みすみ広報

昭和50年
7月1日
148号

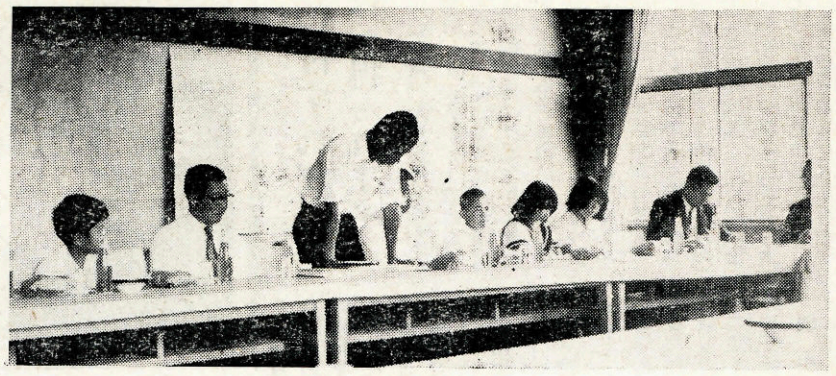
発行所
三隅町広報委員会
発行者　森沢雄治
編集人　田村守

人口のうごき
5月31日現在
世帯数　1,908戸
人口　男　3,450人
　　女　3,872
　　計　7,322

- 湯免温泉まつり
  八月九日（土）
  午後五時から
  温泉広場で
- 昭和五十年
  国勢調査
  十月一日

固定資産税　第二期分の納期は　七月三十一日まで

少年少女の交通安全への願い



過る6月7日に役場において町内各学校の児童生徒16名と道路管理者、警察、交通安全協会及びPTA代表が一同に会し才2回三隅町少年少女交通安全会議が開催されました子供たちが車社会をどう考え、交通安全についてどのように考え実践しているか又将来に対する希望や意見を聞き、われわれおとなたちが自戒していかなくてはならないことが多いいことを知らされました。子供が事故に会うことなくすこやかに成長してほしいものです。

実践発表から

○学校交通安全について
僕たちの学校には部落子供会という組織があつて、毎日の登下校の際には列をつくつて交通安全にとりくんでいます。各部落の子供会毎に集団登校班をつくつているのです明倫小学校区で約20の部落約50の集団登校班をつくつています。部落子供会は毎年6回あり、部落でのくらし方や交通安全のためにとりくんでいます。集団登校班の活動は、毎朝の集合時刻や出発時刻をきめています。班の人数は多いい班で20人から少ない班で2人です。隊列は副班長が先頭、班長が最後部に決めています。班長や副班長は、一年生などの世話をよくしてくれます。特に気をつけているところは横断歩道や踏切、信号などです。学校では自転車事故防止にも努力しています。免許状を受けるための試験をしています。無免許では国道は乗つてはいけないことになつています。小学生ですからギャー付きの自転車はやめています。家に帰つてからの交通安全については、多くの部落では遊び場がないのでどうしても道路であそぶようになります。子供会で道路事故も防ぐように努めています。特に気をつけていることは道路へのとび出しです。部落子供会の活動、集団登校班の活動自転車事故防止、家に帰つてからの交通安全　以上4つにわたつて報告しました。ぼくたちは一生懸命に交通安全に努力しています。

交通違反点数1
ヘルメット無着用

最近、自動二輪車による死傷事故が多くなつてきております、その原因は無法運転、不注意による事故が多いいようですが、ヘルメットを着用していなかつたため、死亡事故になつた例が非常に多くなつてきました。自動二輪車に乗車するとき又助手席に乗るときは必ずヘルメットを着用しましよう。7月1日からヘルメットを着用してなかつた場合、違反点数1となります自動車を利用するときは座席ベルトを着用しましよう。

行事メモ

7月5日	議員記念造林下刈
7月11日 18日 28日 29日 30日 31日	老人健康診査
7月中旬	民生委員会
7月上旬	勲記勲章伝達
7月24日	乳児検診
7月中旬	定例議会
7月15日	農業委員会委員一般選挙
7月下旬	県行造林入札会
7月19日	農業経営者会議設立総会
7月下旬	畜産共進会

日本の心

五月号の広報で寿大学老人会ではグループ活動の一つとして国旗掲揚運動を起し、全戸に協力をよびかけ実施されているよし本当に適切なことだと感じました。就ては聊か愚見を述べさせて貰いますそもそも日の丸は日本という国を認識しようという永い伝統のなかで国民が国を象徴するものとして自然にうけいれられ親しまれてきたものであり、明治三年から現在の日の丸が国を代表する旗として使われてきています。ところが国民の少数とはいえ、日の丸の旗は日本の国旗としてふさわしくないという者もいることが総理府広報室の世論調査で判明しています。日本国に生れ、われわれの国旗を愛することの出来ないとはまことに残念なことであります。私はここに乃木大将と国旗という一挿話を書き添えます。乃木さんが栃木県西那須野のある部落に屋敷を設けられたのは明治二十四年四月のことで大将は那須野がよほど気にいつたと見え、そこで一反五畝を借り農耕生活に従はれていました。乃木御夫妻が那須野にお住いの当時はその部落には祝祭日に一本も国旗がたたなかつたので大将はこれを嘆かれて、ある年の暮東京からの帰りに沢山の国旗を土産に持ち帰り自ら丈夫な紙袋をつくり柿渋を塗り袋の表は国旗と清書され、その下に祝祭日を書きいれその袋に国旗を納め、旗竿代として金五十銭を添えその部落三十三戸の各家に配られました。数日後の正月元旦に初めて部落中一戸のこらず日の丸の国旗がはためき、これを見た村人達は心から喜びと楽しさの笑を浮べ大将に感謝したとのことです乃木さんは野良に働く人、来訪する村人にひまある毎に日本の国の立派なことを表はしているのが日の丸の国旗であると教えられ、村人もそれ以来祝祭日の来るのを楽しみに待つようになつたよしであります。

この話しは私が那須野乃木神社に参拝のとき、同宮司さんから承わつたので参考に附記しました。

白藤　董

税
所得税の第一期分
納税は七月三十一日まで

所得税の予定納税は、才一期と才二期に分けて、七月と十一月に納めることになつています。

この、予定納税の税額は、すでに通知していますので、その金額を七月三十一日までに納めてください。

また、廃業や休業したり業況不振等で予定納税の額が、税務署から通知した税額より減る見込の人は、予定納税額の減額申請を七月十五日までにしてください。

納税にはあなたの預金口座から自動的に納税する振替納税を利用されると　納税の手数がかからず便利です。

◇税の作文に
応募しませんか

国税庁では、いま全国の高校生から税金をテーマにした作文を募集しています。

応募要領は次のとおりです

◇テーマ　税に関することならなんでも結構です。

◇字数など　一人一編、三〇〇〇字以内

◇締切り　九月五日までに税務署へ

◇発表　十一月上旬

◇賞　優秀一五編に国税庁長官賞、佳作に国税局長賞

◎土地改良区を設立

圃場整備事業に参加する、地区面積三三四*ha*、六〇一戸の農家で近く土地改良区が設立されます。

これに先だち、土地改良区の定款を定める作成委員会が過日開催され、決まりました作成委員は、上中下地区より三名づつの推進員代表と、学識経験者四名、計十三名で作成しました。

これによると、参加農家の代表機関として総代を設けます。各農事組合集団を三三に区分し総代区とし、一区より一名総代を選出します。

総代の役目は主として、定款の変更、事業計画、役員改選等の審議を年一回の通常総会において行います。

選出については、参加農家の代弁者ですので、立候補制で、公職選挙法に基き行われます。

総代が決ると、その中から互選により理事　九名、監事　三名を選任し、それぞれ理事長及び副理事長を決めて運営にあたることになります。

役員の任期は四年、設立時期は八月下旬頃。

圃場整備事業
これからのいろいろ
―圃場整備推進会議より―

六月二十一日、推進員と農業連絡員合同会議で圃場整備推進について次の事を打合せした。

一、今年のスケジュール

「七月～八月」換地計画の基礎となる農道、用排水路計画、圃区の千分の一図面作成

「八月」土地改良区の設立

「十月～十二月」換地の基礎となる施工前従前地の評価委員の調査

「十月～三月」五十年度八*ha*の圃場整備工事

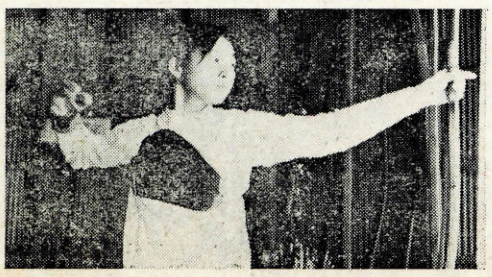
「一月～三月」才一換地区（中村川以東）の事前換地完了

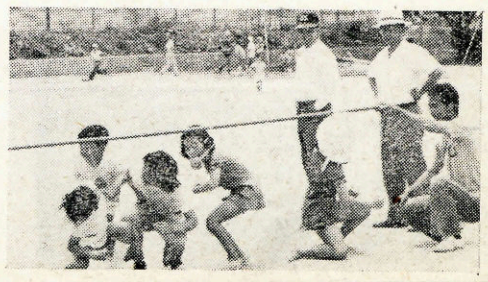
「九月」五十一年度工事地区（六五*ha*）の予定地区決定。

「十月～三月」五十一年度地区の実施設計完了。

特別弔慰金の請求手続は

国は、終戦30周年に当り戦没者遺族に対し、改めて弔慰の意を表わすため特別弔慰金を支給することになりました支給範囲は、「昭和50年4月1日において、その戦没者の遺族に公務扶助料、遺族年金等の受給者がいない」次の遺族に支給されます、①日華事変以降に、戦死病没した者の遺族に戦死者の子があればその子に支給される。③子がいない場合戦没者の兄弟姉妹に支給される。③以上の関係者がいない場合は、法の定める順位によりその支給対象が決定される。①②の該当者が数名あるときは、その請求に関して、同意書が必要となります。この弔慰金の額は、20万円で10年償還、国債の発行は10月1日、第1回償還日は昭和51年6月15日となつています。請求手続を来る7月中旬より実施する予定ですが、該当者に対しては後日通知書によりご来庁をお願いすることにしております。





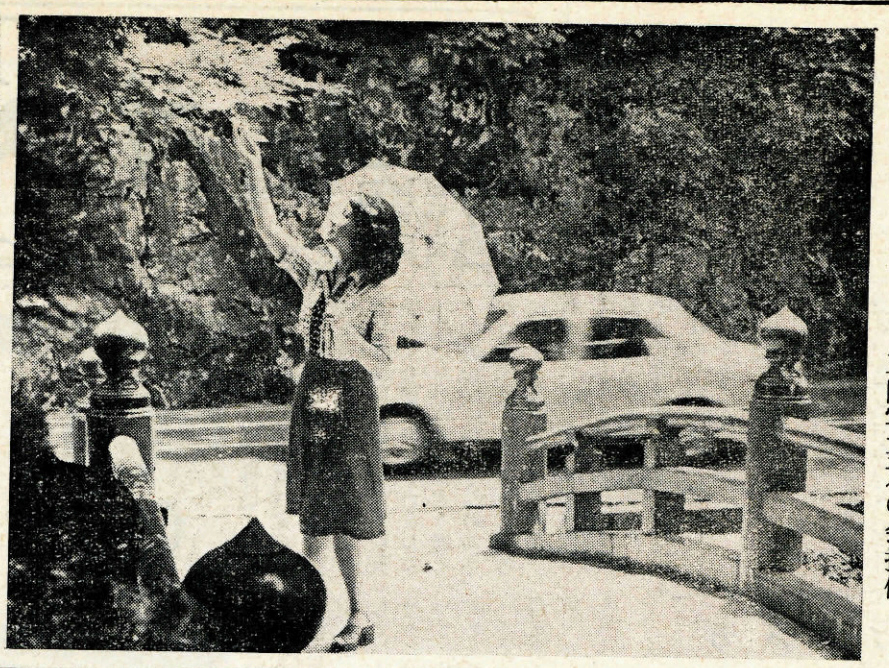
ミニ・ニュース

三隅中出身の長門高校二年生原田奈緒子さん（宗頭部落）は、来る七月二十一日から三日間、津山市で開かれます中国大会へ、山口県代表（弓道）として出場されます。皆様方のご声援をお願いします

上中小野部落自治公民館（館長村岡勝次氏）では、過る六月十日、宗頭文化センター運動場へ部落民が勢揃いして泥落しをかねた体育、レクリエーションを行い、一日を楽しみ、部落民の親和を深めました。

新緑（大寧寺にて）

三隅写真友の会提供



国民年金保険料の特例納付

未納分を納付すれば受給権が得られます

国民年金の高齢任意加入「十年年金」と「五年年金」の支給が始まり、「十年年金」が十七万四千百五十円、「五年年金」は十一万一千四百五十六円が支払われています。

二十五年間納付しなければならない「老齢年金」は三十三万八千六百四十円になりました。

国民年金の保険料は五年、十年と納め続けていても、ある時期の保険料を二年過ぎても納付しなかったら、その分を後になつて納めることができない仕組になつています。

ですから国民年金の「老齢年金」は、特例の年金を除いては、その人が六十歳になるまでに、最低二五年分の保険料を納めなければなりませんもし未納分があれば、わずかな年数不足のために、せつかくの年金を受けられなくなるという、一大事が起ります。

こういう人びとを救うため特例として、今年の十二月の末日を最終期限として、過去の未納分を一括して納付できる道がひらかれました。

また特例納付の措置がとられたことに伴つて、一時の思いちがいや、経済上の都合、その他の理由によつて、当然加入被保険者の資格があるのに、国民年金へ未た加入していない人も、今年の十二月三十一日迄に、未納保険料の全額を払込めば受給権が与えられるという福音がもたらされました。詳しくいえば、昭和四十八年四月以前の過去の被保険者期間のうち、時効によつて保険料を納めることができなくなつた期間について、一か月につき九百円を払込めば受給権が得られるわけです

詳しい事は、民生課福祉係へご相談下さい。

温泉まつり

毎年七月上旬に催しておりました温泉まつりと八月二十日頃に行つておりました盆踊り大会を本年から次のとおり併せて執り行います。

理　由

各団体の自主的な企画により両行事を併せ行い一大夏まつり的催しに盛り上げ更に宣伝効果を揚げようとするもの

期日　八月九日（土）

午後五時から

会場　湯免温泉扇月荘前広場

山口県RH(－)友の会について

最近の交通事故の急増、予期せぬ災害、がん、心臓病などの手術の増加に伴い輸血用血液の需要量はますます増加しています。

輸血に際して大事なことは血液型ですABO式の血液型は、十人のうちA型は四人、O型は三人、B型は二人、AB型は一人の割合で出現していますが、RH式の血液型はRH(＋)型九九・五%、RH(－)型〇・五%といつた割合で、RH(－)者の出現率が非常に低く二〇〇人に一人といった割合といわれています。

このようにRH(－)型の人は輸血を受ける際血液の入手が困難で、緊急の場合は取りかえしのつかない事態の発生が考えられます。

このため、山口県ではRH(－)友の会（仮称）を結成することになりました。

趣旨を十分ご理解いただき一人でも多く加入して下さい

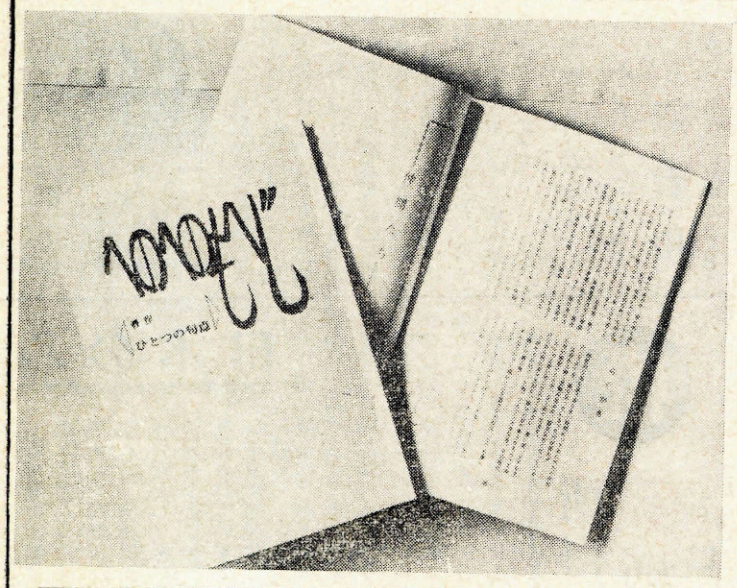
★山口県RH(－)友の会の入会方法

・山口県内のRH(－)血液型の人なら誰でも入会できます。

・申込用紙は役場民生課福祉係にあります。

民生課

県展入選の激励にこたえて文集を刊行



昨秋山口県美術展覧会の洋画の部で輝く入選の栄誉を受け、中村君を励ます会から激励をうけている中村晋作君が「詩」「短歌」「創作」等を一冊にまとめた文集を刊行、優れた画才とともに秀でた文才を披露し将来を期待されております。

雨期に備えて

★家庭での心得★

◎テレビ、ラジオの気象通報や防災上の注意事項をよく聞き、その対策をたてる。

◎窓には板打ちして、しつかりと家の回りを補強するとともに、看板、立て札、その他吹き飛ばされ危害を与えるようなものは、補強するか家の中に入れておく。

○懐中電灯、ローソク、マッチ、応急医薬品、トランジスターラジオその他必要なものを備え、家族みんながわかる場所に置いておく。

○避難の場所、経路は日頃から家族全員で話し合い、よく知つておこう。

○避難するときは、ガスの元せん、電気のスイッチを切りましょう。

中国電力では、危険な場合は防護措置をこうじます。

また、鉄塔附近での子供さんの遊びには十分気をつけて感電死のないように注意しましょう。

こちら119

5月中の火災（　）内は今年累計

長門市	0	（6）
三隅町	0	（2）
油谷町	0	（2）
日置村	0	（2）

5月火災ゼロ

幸せを明日につなぐ火の始末

消防設備士試験（消防設備業者の資格試験）

1　筆記試験

日　時　昭和50年8月8日(金)　10：00

場　所　山口市（受験会場は受験票で指定するので注意すること）

2　実技試験

①　日時　昭和50年9月7日(日)　10：00

3　受付期間　昭和50年7月5日(土)（郵送の場合7月5日消印は有効）

詳細については長門地区消防本部予防課まで　長門2－3111

夏の健康増進運動月間

七月一日～八月三十一日まで

夏期は体力の低下を招き易く、又消化器系等の疾病にもかかりやすい季節です、夏期における健康の保持と増進のための保健衛生思想の向上を図ろうとする運動であります

◉廃棄物を衛生的に処理して下さい。

◉栄養、運動、休養のバランスをとり、かつ健康で明るい生活をするために必要な知識や技術を身につけましょう。

◉夏期に多発する伝染病疾患、特に日本脳炎、赤痢に対しての予防を考えましょう。

日本脳炎は、過労、睡眠不足をさけ栄養をとるとともに予防接種を受け、蚊の発生源を根絶しましょう。又、赤痢食中毒については手洗い等を励行しましょう。

記事訂正

（6月号）

選挙運動に関する収入及び支出の報告書の公表のうち、浅村和夫候補の出納責任者藤本信次とあるのは藤本修一の誤まりでしたので訂正しておわびします。

お知らせ

◉農業委員会委員の選挙

7月15日は、農業委員会の委員の選挙の日です。農業委員の仕事は、農地等の権利移動及び転用の制限、農地等の交換分合のあつせん、農業技術の改良、農作物の病虫害の防除、生産の増進をはかることなどです。このように、農家にとつては大切な仕事をする農業委員会です。公職選挙法を準用して行なわれますのでよく考えて私たちの清い投票で選びましょう。

◉家庭教育（幼児）相談事業

八月七日（木）午前十時から相談事業が明倫小学校で行われます。

講師は

山口女子大教授　対村恵祐
山口大学教授　村瀬律男
徳山幼稚園長　池田光子
山口県精神衛生センター所長　小林茂
山口県立大津高　大島妙子
長門保健所　保健婦

相談を希望される方は公民館へ申込んで下さい。

◉中電だより

電線のとおつている付近での土木、建築工事や樹木の伐採等をされるときは、中国電力に申込んで下さい。

悲喜交々

昭和50年5月22日から6月24日まで

出生

浅田　海田宏司　武司
豊原　宇野美裕紀　光明
市　山口　智　尚一
野波瀬　白井良和　敏朗
東方　田中和宏　俊雄
豊原　五嶋芳孝　照男

死亡

明和苑　市永ツル　八五才
生島　田辺テル　八一才
明和苑　宮垣ヒデ　八八才
下中小野　吉田幸作　七五才
二条窪　坂本サト　七二才
浅田　佐々木末松　八四才
土手　山田キヌ　八二才

◉善意

一、香典返し寄付

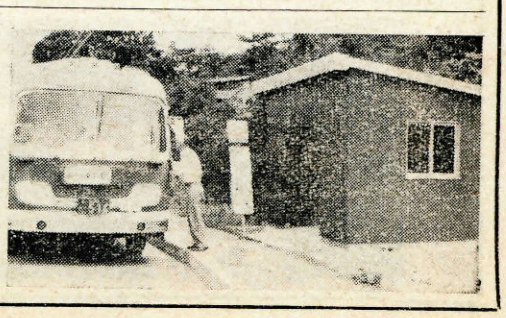
向山　中村勲
長男喜代彦死亡
久原　山崎幸男
父　六一死亡
下中小野　吉田一夫
父　幸作死亡
下中小野　宮垣政一
母　ヒデ死亡

二、見舞返し寄付

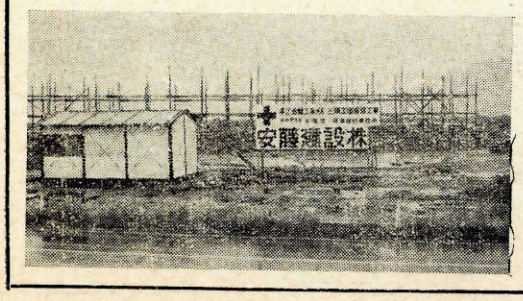
野波瀬　岩本国久
小島　宇野隆
三、一般寄付
野波瀬　白井ヨシ子

バス停待合所の設置

下中小野バス停留所に待合所が設置されました。停留所近くに人家がなく風の日には大変でしたが、便利になりました。



ミニ・ニュース

深江金属三隅工場

本町が町有地（山本開作）に誘致した深江金属工業KK三隅工場の起工式が、去る五月二十四日、現地で山口県商工労働部長をはじめ、多数の来賓をむかえて盛大に挙行され、才一期工事（工場三、〇五七㎡、事務所等延四三三㎡）が力強く着工された。完成は本年十一月末、操業開始は十二月中旬の予定です。